

バラシクロビル粒状錠500mg「モチダ」

服薬指導ガイド

腎機能が低下している患者さん、高齢者では、投与量を減じる必要があります。

医師・薬剤師の皆様へ

腎機能が低下している患者さん、高齢者では、精神神経系の副作用があらわれやすいので、投与量の調節が必要です。これらの患者さんに本剤を投与する場合には、問診や、必要に応じて腎機能検査を実施して下さい。

腎機能の低下した患者さん、高齢者には、以下のクレアチニンクリアランスによる投与量および投与間隔の目安を参考に投与して下さい。

なお、腎障害を有する小児患者における本剤の投与量、投与間隔調節の目安は確立していません。

クレアチニンクリアランス (mL/min)	単純疱疹 造血幹細胞移植における 単純ヘルペスウイルス 感染症(単純疱疹)の 発症抑制	帯状疱疹 水痘	性器ヘルペスの再発抑制
≥50	500mg を 12 時間毎	1000mg を 8 時間毎	500mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 12 時間毎
30～49	500mg を 12 時間毎	1000mg を 12 時間毎	500mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 12 時間毎
10～29	500mg を 24 時間毎	1000mg を 24 時間毎	250mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 24 時間毎
<10	500mg を 24 時間毎	500mg を 24 時間毎	250mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の患者 (CD4 リンパ球数 100/mm ³ 以上) には、500mg を 24 時間毎
血液透析患者	患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、クレアチニンクリアランス 10mL/min 未満の目安よりさらに減量 (250mg を 24 時間毎等) することを考慮すること。 また、血液透析日には透析後に投与すること。		

体内の薬物動態には個人差があるため、目安通り投与された場合でも精神神経系の副作用が発現する可能性がありますので、このような副作用が発現した場合には直ちに服用を中止し、医師に連絡するよう患者さんにご説明ください。

脱水状態下では腎障害が起こりやすくなるので、脱水症状を起こしやすい患者さんには、適切に水分を摂取するようご指導下さい。

本剤の使用に際し、「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照下さい。

製造販売元



販売

【製品情報お問い合わせ先】
持田製薬株式会社 くすり相談窓口
電話番号:0120-189-522

